

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)栃静岡トヨペットサービス 牧	階数	地上2F
建設地	牧之原市西萩間字荒川1082番1、他	構造	S造
用途地域	都市計画区域内(区域区分非設定)	平均居住人員	110 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,700 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年2月 予定	評価の実施日	2019年4月22日
敷地面積	65,247 m <sup>2</sup>	作成者	堀井平八朗
建築面積	4,869 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	5,203 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.6** ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (92 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 82% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 82%

④上記+ 82%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.2**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.1

**LR のスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 建築基準法他諸法令を遵守し、かつできる限り省エネルギー性の高いものを選定することにより環境に配慮する計画としました。 特に、建物外皮の熱負荷抑制の面で高い省エネルギー性が望める計画としています。		<b>その他</b> 特になし。
<b>Q1 室内環境</b> 建築基準法他諸法令を満たす室内環境を維持するよう計画しています。 特に大開口により、昼効率や自然換気性能を高めています。	<b>Q2 サービス性能</b> ダクトにステンレス鋼管を採用することで、長寿命化させています。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内全建物の合計建蔽率は10%未満であり、周辺への圧迫感や威圧感を少なくしています。
<b>LR1 エネルギー</b> 外壁・天井廻りに断熱材(グラスウール24k t=100)を敷設し、消費エネルギーの低減に努める計画としました。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 過半の水栓に節水コマ付器具を採用しています。	<b>LR3 敷地外環境</b> 諸法令を遵守する最低限の取り組みを行っています。 高効率照明を採用することで、光害を緩和させています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



□欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	(仮称)静岡トヨペットサービス 牧之原新車物流センター	BEE	0.6	BEEランク	B-	★★

2. 重点項目への取り組み度					
重点項目	得点 <sup>※</sup> /満点	取組み度	評価		
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.1	/5		ふつう	
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.9	/5		がんばろう	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.5	/5		がんばろう	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	1.5	/5		がんばろう	
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)			評価 凡例 よい 4点以上	ふつう 3点以上	がんばろう 3点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目		
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。		得点		
<b>"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)</b>		<b>3.1</b>		
■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ④耐用年数の長い内装材・ダクトを採用  ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)  ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑦BPI <sub>m</sub> =0.78 ⑨BEI <sub>m</sub> =0.72  ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪過半の水栓に節水型を採用 ⑬外壁・天井廻りに断熱材(グラスウール24K t=100)を敷設  ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出量:81%	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④  Q-3 1 ⑤ 3 3.2 ⑥  LR-1 1 ⑦ 2 ⑧ 3 ⑨ 4 4.1 ⑩ 4.2 ⑩  LR-2 1 1.1 ⑪ 1.2 1.2.1 ⑪ 1.2.2 ⑪ 2 2.1 2.1.1 ⑫ 2.1.2 ⑫ 2.1.3 ⑫ 2.1.4 ⑫ 2.1.5 ⑫ 2.1.6 ⑫ 3 3.1 ⑬ 3.2 3.2.1 ⑬ 3.2.2 ⑬ 3.2.3 ⑬  LR-3 1 ⑭ 2 2.2 ⑮	② 外皮性能 ③ 昼光利用設備 ④ 昼光制御 ⑤ 躯体材料の耐用年数 ⑥ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ⑦ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ⑧ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ⑨ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ⑩ 主要設備機器の更新必要間隔  ⑪ 生物環境の保全と創出 ⑫ 敷地内温熱環境の向上  ⑬ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑭ 自然エネルギー利用 ⑮ 設備システムの高効率化 ⑯ モニタリング ⑰ 運用管理体制 ⑱ 節水 ⑲ 雨水利用システム導入の有無 ⑲ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑲ 材料使用量の削減 ⑲ 既存建築躯体等の継続使用 ⑲ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑲ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑲ 持続可能な森林から産出された木材 ⑲ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑲ 有害物質を含まない材料の使用 ⑲ 消火剤 ⑲ 断熱材 ⑲ 冷媒  ⑲ 地球温暖化への配慮 ⑲ 温熱環境悪化の改善		
	<b>"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)</b>		<b>2.9</b>	
	■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑯耐震・防振ゴムの設置 ⑰自家発電機・非常用照明を計画	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑯ 耐震性 ⑰ 免震・制振性能 ⑱ 空調・換気設備 ⑱ 給排水・衛生設備 ⑱ 電気設備 ⑱ 機械・配管支持方法 ⑱ 通信・情報設備	
		<b>"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)</b>		<b>2.5</b>
■サービス性能対策 (⑯機能性・使いやすさ/⑰心理性・快適性/⑱空間のゆとり) ⑱階高3.950mm以上 ⑱壁長さ比率=0.068 ■室外環境(敷地内)対策 (⑲地域性・アメニティへの配慮)	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑯⑰ 3 3.1 3.1.1 ⑱ 3.1.2 ⑱ Q-3 3 3.1 ⑲	⑲ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ ⑲ 地域性への配慮、快適性の向上		
	<b>"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)</b>		<b>1.5</b>	
■室外環境(敷地内)対策 (⑲生物環境の保全と創出/⑳まちなみ・景観への配慮/㉑敷地内温熱環境の向上)  ■敷地外環境対策 (㉒温熱環境悪化の改善) ㉒高効率の照明器具の採用	Q-3 1 ⑲ 2 ⑳ 3 3.2 ㉑  LR-3 2 2.2 ㉒	⑲ 生物環境の保全と創出 ⑳ まちなみ景観への配慮 ㉑ 敷地内温熱環境の向上 ㉒ 温熱環境悪化の改善		